

第Ⅳ章 テーマごとに進める景観づくり

市域全体で進める景観形成の次の段階として、P.6の「景観構造図」に示した、本市の景観を特徴づける「線的な景観要素」や「点的な景観要素」を活かした景観形成を行うため、景観づくりのテーマを設定するとともに、これらのテーマに基づいた景観的な配慮事項を整理します。

(1) 広がりある眺望と身近な水辺景観の魅力向上

a 河川景観

「相模川へ流れ込む、河川沿いに広がる水と緑の空間」

【景観特性】

- 相模川を始めとする主要な河川沿いには、水と緑が調和した広大な空間が形成され、市民生活にうおいとやすらぎをもたらしています。
- 河川堤防や橋梁上は広がりのある眺望ポイントとなっています。

【課題】

- 河川空間へのゴミの不法投棄
- 広がりのある景観に対し、突出した高さや色彩の建築物等の立地

【想定する区域】

相模川と中津川・荻野川・小鮎川・玉川・恩曽川の河川に隣接した区域



相模川

【景観形成のテーマ】

広がりある眺望と身近な水辺景観の魅力向上

【景観形成の方針】

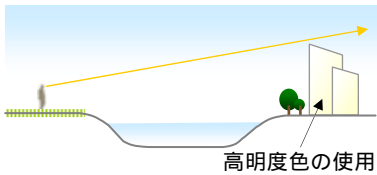
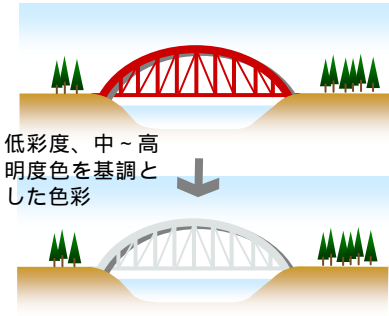
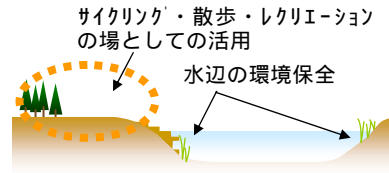
生活に身近な水と緑の環境維持

河川敷を活用したスポーツ広場や自然に触れる親水施設など、日常生活に身近な水と緑の空間として良好な自然環境を維持するとともに、周辺の居住者や事業者、施設利用者の理解と協力により、河川空間を美しく保ちます。

河川景観と調和した周辺市街地の景観形成

連続する水と緑の軸として広がりのある眺望景観を維持するため、これらの河川に架かる橋梁や河川敷からの眺望に配慮し、河川沿いに立地する建築物の形態やデザインの誘導を行います。

【景観形成ガイドライン】

配慮事項		参考例
明るく開放感のある景観をつくる	開けた河川沿いに立地する建築物の色彩は、明るく開放感のある色彩(高明度色)とする。	
	橋梁の色彩は、青色や緑色など直接的な連想による高彩度色を避け、水面や河原の緑などが美しく引き立つ低彩度で中～高明度色を基調とする。	
水辺環境を保全し親水性を高める	自然豊かなオープンスペースの軸として、水辺の環境を保全するとともに、サイクリングや散歩、レクリエーションの場としての活用を図る。	

【導入が考えられる関連事業等】

関連事業		
名称	概要	管轄
ふるさとの川整備事業	河川本来の自然環境の整備・保全や周辺景観との調和を図りつつ、地域整備と一体になった河川改修を行い、良好な水辺空間の形成を図る。	国土交通省 河川局
桜つつみモデル事業	周辺の自然的、社会的、歴史的環境等との関連から、河川の緑化を推進することによって良好な水辺空間の形成を図る必要がある区間について、堤防を強化するとともに桜などを植樹して、良好な水辺空間の形成を図る。	国土交通省 河川局
緑地環境整備総合支援事業	都市公園の整備や市民緑地の公開など、効率的・効果的な緑とオープンスペースの確保を支援し、都市域における水と緑のネットワークの形成を推進する。	国土交通省 都市・地域整備局

(2) 視界の変化に富んだ趣のある斜面緑地の保全

b 斜面緑地景観

「台地と低地の間に連なる、緑のよう壁」

【景観特性】

- 台地と低地の間に連なる斜面緑地は、低地部に広がる田園・市街地景観の背景として、四季の彩りとうるおいを創出しています。
- 斜面緑地上部の台地は、見晴らしの良い眺望ポイントとなっています。
- 斜面緑地を登る坂道は、緑豊かな趣ある景観を創出しています。

【想定する区域】

市街化区域と市街化調整区域の境界部における斜面地の区域



山際

【課題】

- 連続する斜面緑地を分断し、良好な眺望を阻害する大規模建築物や工作物
- 斜面緑地上への住宅開発による良好な眺望景観の喪失



【景観形成のテーマ】

視界の変化に富んだ趣のある斜面緑地の保全

【景観形成の方針】

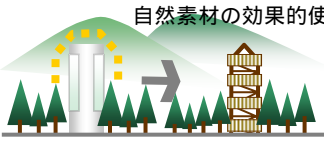
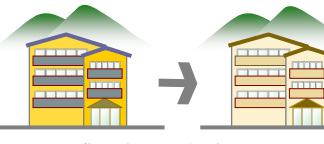
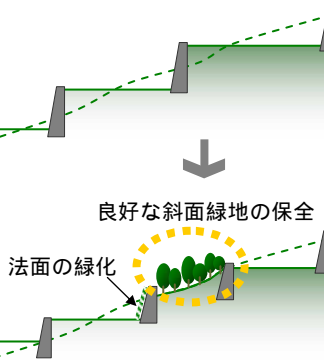
斜面開発における景観誘導

開発地がこれらの斜面緑地にかかる場合は、緑の連続性を担保できるよう、周囲の緑との調和に配慮した建築物の意匠・形態を誘導します。

まとまりある斜面緑地の法的担保

連続的に斜面緑地が維持されている部分については、特別緑地保全地区等に指定することによって、法的な担保に基づいた保全に努めます。

【景観形成ガイドライン】

配慮事項		参考例
自然景観になじませる	○ 周辺の自然景観に調和し、長期間にわたり良好な景観が維持できる自然素材を効果的に使用する。	 自然素材の効果的使用
	○ 光沢性の高い金属等の大面積での使用は避ける。	
自然の色彩に調和させる	○ 建築物の外壁や屋根など広い面積で使用する色は、周辺の自然色との調和に配慮し、高彩度色の使用は避ける。	 背景色との調和 色数の抑制 高彩度色の使用抑制
	○ 使用する色数を少なくし、落ち着いた色彩とする。	
現況の地形を活かした造成とする	○ 現況の地形を可能な限り生かし、長大な法面や擁壁が生じないように配慮する。	 良好な斜面緑地の保全 法面の緑化
	○ やむを得ない場合もできる限り緩やかな勾配とし、法面の緑化に努める。	

【導入が考えられる関連事業等】

関連事業		
名称	概要	管轄
特別緑地保全地区	○ 都市における良好な自然環境となる緑地において、都市緑地法に基づく「特別緑地保全地区」の指定を行うことにより、建築行為等の一定の行為を制限し、緑の保全を行う。	国土交通省 都市・地域整備局
厚木市緑を豊かにする事業推進要綱	○ 自然環境が良好に保全されている森林等で土地の面積が 500 ㎡以上の区域について「自然環境保護地区」に指定し、良好な緑を保全する。	厚木市

(3)安全で快適な通行に配慮した道路景観の向上

c 沿道景観

「車対応の施設配置や大型広告の掲出が見られる沿道商業軸」

【景観特性】

- 幹線道路沿道にはマンションや商業ビル等の建築物が連続して立地しています。
- 車利用者の利便性に配慮した大型駐車場や遠方からも目につきやすい大型看板など、ロードサイド型施設特有の景観を呈しています。
- 本市は東名高速道路や小田原厚木道路のほか、今後はさがみ縦貫道路や新東名高速道路など、大規模な土木構造物による景観の変化が見られます。

【想定する区域】

広域幹線である高速道路、国道及び主要幹線道路と沿道の隣接する区域



国道 129 号厚木 IC 付近

【課題】

- ロードサイド型店舗の過度な色彩や形態建物や大型看板
- 市街地から外れた幹線道路沿道における土地利用の混在
- 広域幹線道路の圧迫感を与える高架構造物



【景観形成のテーマ】

安全で快適な通行に配慮した道路景観の向上

【景観形成の方針】

ロードサイド型商業地域における沿道景観の向上

ロードサイド型店舗の派手な色彩や過度な意匠・形態を抑制するため、建物デザインや屋外広告物等に関するルールをつくり、連続する道路軸としての景観向上を図ります。

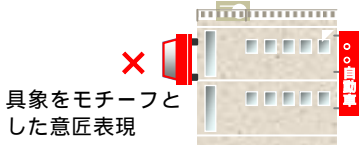
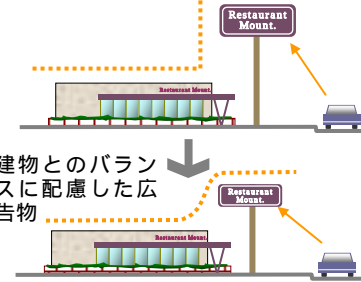
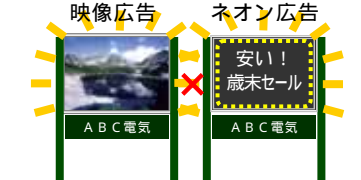
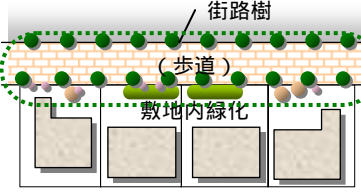
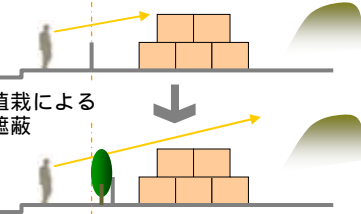
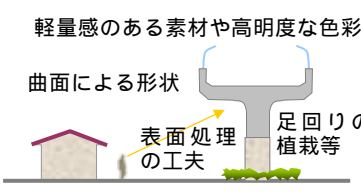
山間の幹線道路沿いにおける自然景観の保全

隣接する市町村と本市を結ぶ山間の幹線道路沿道には、資材・廃材置場などが多く見られ、沿道の自然眺望を阻害しているところもあります。適切な土地利用の在り方や景観的な配慮事項を示し、背後に広がる自然地の良好な眺望景観を維持していきます。

圧迫感を与える高架構造物への景観的配慮

広域幹線道路の整備に伴う高架構造物の建設に際し、周辺環境への圧迫感を軽減する形態・意匠の工夫や緑化等による修景など、景観的な配慮を要請していきます。

【景観形成ガイドライン】

配慮事項		参考例
建物や広告物の過度な意匠を控える	○ 建築物や広告物において、具象をモチーフとした奇抜な意匠表現は行わない。	 具象をモチーフとした意匠表現
	○ 建物とのバランスを考慮し、建物によるスカイラインから大きく突出したり、過度に大きな広告物の掲出は行わない。	 建物とのバランスに配慮した広告物
	○ 映像広告やネオン広告等の点滅広告の掲出は行わない。	 映像広告 ネオン広告
厚みのある緑の帯をつくる	○ 主要な道路沿いでは、街路樹と一体となって厚みのある緑の帯を創出する敷地内緑化を積極的に行う。	
景観を障害するものを隠す	○ 集積物が道路等から容易に望見できないよう、敷地周縁部に中高木や防護柵等により遮蔽する。	
大規模構造物による圧迫感を軽減する	○ 周辺への圧迫感を軽減するため、桁や橋脚、高架構造物の形状をシンプルで軽量感のあるデザインとする。	 軽量感のある素材や高明度な色彩 曲面による形状
	○ 落書きや貼り紙、汚れ等が目立たないような表面処理を工夫する。	

【導入が考えられる関連事業等】

関連事業		
名称	概要	管轄
厚木市屋外広告物条例	○ 都道府県、政令市及び中核市に加え、景観行政団体となった市町村が地域特性に応じた独自の屋外広告物条例を策定することができる。	厚木市
路上違反広告物簡易除却制度	○ 路上に掲出され、まちの景観を損い、安全な通行を妨げる貼り紙や立看板、のぼり等の簡易広告物について、市長に委任された市民が除却できる。	厚木市

(4) 歴史・文化資源のまちづくりへの活用

d 歴史・文化景観

「本市の歴史を偲ばせる歴史・文化資源」

【景観特性】

- 市内には多くの寺社を始め、歴史的信仰の対象となってきた大山、大山詣を支えてきた古道や渡し場などの歴史を伝える石碑等が点在しています。
- 伝統的な民俗芸能やまつり等も市全体に多く、市民に親しまれています。

【課題】

- 十分な活用がなされていない歴史・文化的資源
- 歴史的な地域特性が活かされていない、かつて「小江戸」として栄えた市街地

【想定する区域】

景観資源リストに掲げた歴史系・文化系資源の周辺区域



妻田薬師

【景観形成のテーマ】

歴史・文化資源のまちづくりへの活用

【景観形成の方針】

文化財や歴史的資源に対する市民意識の向上

地域のシンボルとなっている樹木や社寺等の歴史的建造物は、街なみ形成の貴重な資源として広く市民に知らせることで、より一層親しみや愛着を持ち、地域と一体になった保全に努めるとともに、特徴的な街なみ形成に向けた積極的な活用を行います。

「小江戸」の雰囲気を活かした都市景観の整備

大山詣の旅人が相模川を渡る前後の宿場町として栄えた東部地域においては、地域の歴史・文化的資源を有効活用しながら、まちの記憶をデザインのキーワードとして街なみ整備を行うことで「小江戸」風景観の創出を行い、地域の活性化を図ります。

景観的特徴をもったまとまりある集落景観の保全

市内には史跡や文化財等までではなくても、飯山の久保地区のような低い石積みと庭木の整った集落など、景観的に特徴をもったまとまりのある集落が見られます。このような趣きとまとまりのある集落景観の保全を図ります。

【景観形成ガイドライン】

配慮事項		参考例
貴重な景観資源を残す	○ 歴史的建造物等をそのまま残すことが困難な場合は、外壁等の一部を活かした改築等による保存も検討する。	
	○ 社寺林や旧街道沿いなど、往時の面影を残す樹木等がある場合は、できる限り保存する。	
特徴ある意匠や形態を活かす	○ 特徴ある形態や素材を用いた歴史・文化資源の周辺では、これらと呼応したデザインモチーフや素材を使用することで、街なみとしての景観形成に寄与する。	
	○ 歴史・文化資源の周辺では、これらの存在を引き立たせるため、これらの資源と共通性のある色彩又はこれらよりも彩度の低い色彩を基調とする。	

【導入が考えられる関連支援事業等】

関連支援事業		
名称	概要	管轄
厚木市緑を豊かにする事業推進要綱	○ 自然環境が良好に保全されている社寺林など、土地の面積が 500 ㎡以上の区域について「ふるさとの森」に指定し、良好な緑を保全する。	厚木市
身近なまちづくり支援街路事業	○ まちづくりテーマや地区整備の方針、地区施設等の整備計画など、まちづくりに関する総合的な整備計画が策定されている地区において、道路や舗装の美装化、道路植栽、ポケットパーク等の整備を推進する。	国土交通省 都市・地域整備局
まちづくり交付金	○ 地域の歴史・文化等の特性を活かした地域主導のまちづくりを実施し、生活の質の向上と地域の活性化を図る。	国土交通省 都市・地域整備局